

審議会等の会議結果報告書

課所名

教育総務課

会議名 第8回 ゆめスクールプラン南部地区推進委員会

開催日時 令和7年2月13日(木) 午後7時00分 から 9時00分まで

出席者 (委員)(敬称略)
松木祐基子、伊藤敏、山戸俊彦、百瀬美津穂、村瀬裕美、三澤ちえ子、河手正彦、馬場直樹、市川寿、百瀬淳一、實吉和代、松木文夫、原基彰、和地忍、小泉純子、熊谷真実、小松遥、溝口庸江、小高有莉亜、関基、笠原敏彦
(オブザーバー)教育委員(敬称略)
岩波健一、草間良子、玉本広人、今井みどり
(事務局)
三輪晋一教育長、細野浩一次長、伊藤勝徳課長、茅野光徳係長、河西優樹主査、森崇係長、河西瞭主任、溝口純永指導主事、三村昌弘指導主事
(傍聴者)6名

資料
資料1 南部地区「小中一貫教育学校の取組」
資料2 令和7年度予算に基づく南部地区施設一体型小中一貫教育学校の敷地確保のための調査業務について
資料3 今後の予定について
資料4 諏訪市学校再編推進委員会設置要綱
資料5 諏訪市ゆめスクールプラン南部地区推進委員会 部会構成 案

協議議題(内容)及び会議結果(要旨)

(進行:教育総務課長)

1 開 会

2 委嘱状交付(机上配布)

3 教育長あいさつ

- ・前回基本構想を決定いただき、半年ぶりの開催。この間、事務局で内部的な調整を進めてきた。
- ・本日、来年度の当初予算案を公表した。来年度予算にて行う、再編推進に係る来年度の取組内容について協議いただきたい。
- ・また、協議に先立ち、本年度の南部地区における小中一貫教育について報告いただく。
- ・南部地区小中一貫学校の教育内容については基本構想の中でも3つのコンセプトに整理したが様々なことが絡み合い、流動的なものである。
- ・新しい学校は現在の小中一貫教育の延長線上にある。加えて、施設一体型になることで、新しい学校文化が生まれる。そこを目指しながら開校に向かい、各校で小中一貫教育を継続して進めていく。
- ・国の動きについて、教育課程の基となる学習指導要領の改訂に向けて検討が始まった。新しい学習指導要領は2030年に開始予定。そこに向かい、今後教育内容が動いていくことが予想される。

4 報告(中洲小学校村瀬校長)

(1)南部地区3校(四賀小・中洲小・諏訪南中)の小中一貫教育の取り組みについて

(村瀬校長)資料1により報告

5 協議(議事進行:関委員長)

(1)令和7年度予算に基づく南部地区施設一体型小中一貫教育学校の敷地確保のための調査業務について

(事務局)資料2により説明

【質疑応答】

(委員)該当の敷地は確保できているのか。現在の状況を教えていただくことは可能か。

→(事務局)土地の実測、不動産価格の評価、該当地区には住宅があるので、移転補償を行うとどの程度になるのか。地権者の方々と協議をしていく前段階となる測量業務をここで計上する。具体的な協議はその後となる。

(委員)地権者の方には学校敷地の検討について今後協議させていただきたい旨は伝えているのか。

→(事務局)令和7年度予算に基づく調査業務を行うことについてはご理解・承諾をいただいている。

(委員長)対象となる用地の面積はどのくらいか説明いただけるか

→(事務局)現在の諏訪南中の西側、道路を挟んだ約8,000㎡について調査業務を進めていく。

(2)今後の予定について

(事務局)資料3、4、5により説明

【質疑応答】

(委員)通学部会にてメインで話される内容は、細久保・武津・普門寺の3地区のことだと思う。諏訪中学校のPTA会長には城南小出身の方がなる可能性があるが、その方が通学部会のメンバーになっても話が分からない可能性がある。例えば、諏訪中学校PTAの組織の中で地域代表委員(部員)として、細久保・武津・普門寺からも選出されているため、その方々から意見を伺ったり、PTA会長のサポートとして通学部会に参加をお願いしたりすること考えられる。

基本構想完成時に、諏訪市教育委員会による説明会が四賀地区と中洲地区で開催された。自分も四賀地区の説明会に参加した。その中で、通学区に関してはこれから検討するということだった。近隣住民の方からも通学区はどうなったのかという問い合わせもあるため、「通学部会を立ち上げて、今後どのように通学区等を検討していくのか」という部分を関係する3地区の住民等に周知をしていって欲しい。

→(事務局)通学部会のメンバー選出については、提案いただいた内容を参考とし、諏訪中学校のPTAの方々とも話し合いながら考えていきたい。昨年、基本構想が完成した後、基本構想の内容を説明するとともに地域住民の方々の意見をお聞きすることを目的として、四賀地区と中洲地区で説明会を開催した。その時いただいた通学区等への意見を踏まえた上で、まずは、通学部会を立ち上げたいという提案を当会議でさせていただいている。このことを決定いただいた上で、地域の方へは周知をしていきたいと考えている。

(委員長)通学部会案として示されている構成メンバーは単年度で変わる役員の方が多いため、タイムスケジュール的に事務局でどう考えているか。

→(事務局)どのくらい時間がかかるかは部会を進めながらになるが。基本的に通学部会のメンバーは多くの方が1年で変わることを前提とし、メンバーの方々には任期期間内の協議を進めていただきたい。

(委員)これまで諏訪市の通学区はどのような基本的考え方で決まってきたのか。通学区については設置要綱のようなものがあると思う。そこに沿って考えていく必要があると思うので、あればお示ししてほしい。

通学区域を考えるにあたって、焦点をあてるのは細久保・武津・普門寺だけでよいのか。

→(事務局)通学区について要綱で定められている。これまでも新しい学校がつくられるタイミング等で、通学区の見直しが行われてきている経過があるため、今回の南部地区の新しい学校をつくるというタイミングをもって通学区の見直しを行う。

焦点については、これまでの推進委員会において特に検討を要するという事で細久保・武津・普門寺の3地区を焦点としてあたってきたが、新しい学校を作る上で全体を見て、通学区をどうしていくかについては通学部会にて検討をいただきたい。通学部会での検討が再編推進委員会で報告され、方向性を固めていくという段取りで進めていく。

(委員)諏訪市全体の通学区を考えていくのであれば、西中の委員も通学部会に含めることも必要なのではないか。諏訪中学校区と諏訪南中学校区で議論するだけでよいのか。

→(事務局)諏訪市全体の中で通学区を考えていくとなると大きな話になってしまう。南部地区の話となるので、現時点で四賀小学校・中洲小学校・諏訪南中学校の通学区となっている地区が原則として検討に挙がっていると考えている。諏訪西中学校の通学区となっている地区から要望が挙がってきていないため、南部地区の3校の通学区の地区について考えていきたい。

(委員)3校の通学地域について距離は関係ないと考えている。新しい学校を作ればみんな行きたくなるのではないかと。建物は新しくなるのでそれは1つの行きたい理由になる。部活動等のことを考えるとスケールメリットが大きいことも重要。通学距離が遠くても行きたくなる学校を考えていくことが必要なのではと感じる。

(委員)①通学部会で議論されたことのアウトプットの方法は？地図等が出てくるのか、はっきりさせてほしい。自分が想定しているアウトプットは、大体この地区に住んでいる人はこの通学路を通して通学をする。その通学路にはどのような危険箇所があるかも示されていて、徒歩で〇〇分ぐらいかかるという地図を示してもらえそうなイメージをしているが、そこはいかがか。

→(事務局)通学部会にて議論を重ねる中で、そのような形の方向性が出てくればアウトプットの具体的な方法が見えてくるかと思われる。

(委員)①通学部会の構成メンバーに学校関係者や保護者の方々が入っているが、安全確保を考えたときに市の建設課職員等も携わるのかが資料からは分からない。②通学路が安全かどうかという部分について、保護者の視点と市の視点に乖離があると感じる。そのため、リスクマネジメントの専門家等の第三者に入ってもらい、違う視点からの意見をいただいたほうがよいのではないかなと思う。

→(事務局)①通学路点検を南部地区に限らず、毎年1回実施している。点検のメンバーには教育委員会職員、建設課、地区の皆様、警察も含まれている。そこで課題が出てきて、直ちに対応できるものについては行っている。しかし、諏訪の軟弱地盤また、道路行政において、予算的に厳しい面がある。それに加え、市道・県道・国道とそれぞれ管轄が分かれているため、なかなか進捗しないという現状がある。教育委員会としては子ども達の安全を第一に考え、また、学校は地域の拠点となることを踏まえて、今回の南部地区施設一体型小中一貫教育学校を作る上では、通学路を早めに固めて、通学路の安全確保に努めてまいりたい。そのため、通学部会を直ちに立ち上げたい。

②通学路を決めるにあたって、実際に歩いて現地確認を行い、それをもとに通学路確定していくことが考えられる。その上で、必要に応じて通学部会の部員から、「第三者から安全性への提言をいただくべき」という意見が出ればそのような手段もありうる。

(委員長)通学部会にて通学区を検討していただき、再編推進委員会で報告いただく。ここで決定ではなく、更に最終的には教育委員会に挙げて、固めていくというイメージでよいのか。

(委員)通学部会の部会構成案について、通学部会の構成メンバーに細久保・武津・普門寺の3地区の方がいない場合も考えられる。この3地区のことがメインで話し合われるなら、当事者もメンバーに

必要だと思う。

→(事務局)部会のメンバー構成については、3 地区の方がメンバーに含まれるように PTA 等の団体とも話し合っていきたいと考えている。通学部会のみが検討の場ではなく、通学部会でこのような意見が出たと、推進委員会で報告する。推進委員会にて決定というのではなく、当事者である 3 地区の皆様への報告や意見の聴収を行う。このように丁寧な議論を重ねていくことが大事と考える。通学部会のみならず、様々なチャンネルを作っていきたいと考えている。

(委員)南部地区の新しい学校に細久保・武津・普門寺の子達も通いますと決定した際、通学路の検討と同時に安全確保にかかるスクールバスの運行についても考えなければならないと思う。スクールバスの運行次第によって、通学路が大きく変わってくると予想される。バス停をどこに置くか。通学路とバス停への道で、危険箇所も変わってくる。その方向性はいかがか。

→(事務局)通学区・通学路・通学の支援(スクールバス)については通学部会にて協議していただく内容となるため、事務局としては現状、案はない。

(委員)

どのくらいの頻度で開催されるイメージが分かれば教えてほしい。次年度の会長への引継ぎの際に示したい。先行して、城北小学校と高島小学校が統合し、上諏訪小学校として進められており、その際も通学路について議論されたかと思うので、そこをどのように解決してきたかもヒントになるかと思うので、参考にさせていただけたらと思う。会議の頻度については、再編推進委員会・通学部会・PTA 部会と PTA 会長の会議等への出席に係る負担が増えるため、あらかじめ引継ぎの際に伝えられたらと思うが、大まかなスケジュールはあるか。

→(事務局)城北小学校・高島小学校・上諏訪中学校における第 1 弾の小中一貫校の事例があるため、部会にて情報提供ができるようにしたい。通学部会の回数については、第 1 回目の会議にて、参加されたメンバーの皆さんの状況を確認しながら、年何回開催していくのか見定めていきたい。いずれにしても、再編推進委員会と部会の皆様に協力いただき、開校を迎える事には変わらないため、今後ともご協力を賜りたい。

今後、開校年度が見えてきたところで、それぞれの部会の開催回数が変わってくるかと思う。現段階では令和 7 年度は年数回開催されるということで、後任の方に引継ぎをしていただきたい。

(委員長)参考として、城北小学校と高島小学校については、令和 3 年 4 月に開校が決まっていたため、令和元年～2 年の 2 年間かけて、各部会での協議が行われた。メンバー的には城北小学校と高島小学校のそれぞれの前 PTA 会長が中心となって部会が進められていた。そのため、協議においてはほとんどメンバーが変わらなかった。(途中から通学区の関係で城南小学校の PTA の方々が参加した)

今回の南部地区の小中一貫教育学校の協議については、開校年度が未定のため、メンバーが変わらないことは難しいと感じる。

(委員)各部会において、有識者やアドバイザー的な人はいるのか。どのように部会での協議を進めていくのかイメージがあれば教えていただきたい。

→(事務局)教育委員会において、それぞれの部会の担当者を決める。それぞれの部会で部会長を決めていただき、部会長と事務局で協議を重ねながら部会を動かしていく。部会の中で、こんな方に助言を伺いたい等の意見が出てきた際には、必要に応じて有識者等に出席をお願いしながら部会を進めていきたい。

(委員)通学部会の構成メンバーについて、PTA 会長が入っているが、1 年ごとにメンバーが変わると、そのたびに協議内容を少し戻って説明を行うことが生じてしまう。PTA には本部会や地区会があるため、地区会で各保護者の意見を吸い上げ、PTA の本部会に挙げて、PTA 会長に伝達されるという

道筋がたっていると、PTA 会長や先生方が認識していない細かい部分の意見を拾い上げることができ。中洲小では下校支援をしていただいているボランティアであるキョロブラの方々から意見を学校に伝えていただくことも良いと考える。これにより、幅広く意見を集約できるだけでなく、年度が替わっても、協議で話し合われている内容が引き継がれていくと考えられる。

→(事務局)部会のメンバーについて、PTA 会長やそれぞれの会員の中から選出いただき、任期の中で協議を進め、部会を回していくことが基本的な考え方である。会の持ち方について、ご意見については、工夫が必要であり、運営方法も考えていかなければならないという提案だと思う。したがって、それぞれの会議の前に次の議題は何かを明確にした上で、PTA 会長等が、それぞれの組織の意見を吸い上げた上で出席できるような工夫や運営を考えながら部会を進めていく必要があると理解したので、参考にさせていただきたい。

4 その他

(事務局)→なし

5 閉 会

【全体での質疑意見】⇒なし

終了 9:00